

本気で考える香川の未来

谷久 浩一

たにひさ

こういち



谷久浩一が取り組む3つの重要課題

明るい

1

ひと・モノ・情報が生き活きと行きかう 元気な香川の実現

- 県、市町、交通事業者、地域の方々が一体となり、持続可能な地域公共交通体系の構築に努めます。
- 島嶼部における情報通信基盤整備の更なる充実・促進に努めると共に、地域の活力の源となる人材を増やすために、移住受け入れの為に仕組み作りや地域資源を活かした移住促進策を進めます。
- 本県の認知度をさらに高める情報発信を行うと共に着地型・滞在型観光を推進し、観光客等交流人口の拡大をはかり、観光振興による地域活性化に努めます。

未来を

2

環境と経済の発展が両立する香川の実現

- 豊島産業廃棄物の処理終了後の跡地利用が地域の方々をはじめ県、町が一体となって地域の発展・振興につながるよう努めます。
- 経済の活性化につながる雇用の創出のため、企業立地を促進すると共に、成長が有望な産業分野への県内企業進出支援や、中小企業の資金調達の円滑化、ベンチャー企業の育成に取り組み、産業の振興を図ります。
- 太陽光発電やバイオマス等新エネルギーを導入促進し、次世代に対応したまちづくりを目指します。

創りたい!

3

“安心して暮らせる香川”心からそう思える誇りと 愛着のもてる魅力ある香川の実現

- 県民の誰もが、いつでも、どこでも適切な医療が受けられるよう、救急医療体制の強化、医師・看護師確保対策の推進、へき地医療の充実、県立病院などの整備に努めます。
- 高齢者、障害者、子供など社会的弱者の方々々が住み慣れた家庭や地域とともに安心して暮らせるよう環境整備に努めます。
- 交通事故防止に向けた交差点改良や歩道の整備やバリアフリー化をはじめ、自然災害を未然に防ぐための高潮対策や港湾の整備、そして子供達が安全で快適に学べるよう教育環境を整備します。

私たちがめざす社会

香川県は、全国で面積が一番小さい県です。しかし、小さいから出来ることもあります。私たちは、香川県オリジナルの「香川県型施策」を推進し、郷土香川の基盤づくり・まちづくり・ひとづくりを目指します。

豊かな心と確かな学力で教育県香川の復活をめざします。

- ①義務教育における基礎の徹底と学力・体力の充実を図ります。
- ②教員の質の向上と指導力の充実を図ります。
- ③高校教育を活性化し、学力もスポーツも全国上位をめざします。
- ④歴史と伝統文化を尊重し、わが国と郷土を愛する人間を育てます。
- ⑤道徳教育を充実し、心の教育や健康教育を推進します。
- ⑥家庭教育を充実し、生きる力の育成や学習習慣の定着を図ります。



経済的波及効果の少ないバラまき政策を廃し、地域の活性化につながる真の経済政策を推進します。

- ①医療・福祉などの分野での産業振興をはかり、積極的に雇用を作ります。
- ②世界的なオンリーワン企業など県内企業を積極支援し、香川の雇用と経済を守ります。
- ③スポーツや芸術文化などの大型イベントの誘致を積極的に推進し、交流人口の増加を図ります。
- ④公共事業の必要以上の罪悪視を止め、住民の求める事業を推進します。



香川ブランドの商品化を推進し、高付加価値農・漁業の確立を図ります。

- ①地球温暖化対策や省エネルギー行動の推進など循環型社会づくりを進めます。
- ②香川の緑を守り、育てるために森林整備を進めます。
- ③瀬戸内海や河川など水環境保全の対策を進めます。
- ④担い手の経営安定に資する支援を行います。
- ⑤学校給食と地元農山漁村との関係を深め地産地消を推進します。
- ⑥有機農業等の高付加価値農業を支援し香川型農業の確立をめざします。
- ⑦香川ブランドを商品化し国内のみならず海外へ向けての販売戦略を確立します。



香川の豊かで特色ある自然を守り、安心して生活できる環境をつくります。

- ①地球温暖化対策や省エネルギー行動の推進など循環型社会づくりを推進します。
- ②香川の緑を守り育てるために森林整備を進めます。
- ③瀬戸内海や河川・ため池など水環境保全の対策を進めます。
- ④希少野生生物を保護する一方、有害鳥獣対策を進めます。
- ⑤災害に強い県土づくりを進めます。



香川を変える!プロジェクト

香川県議会・自民党議員会はプロジェクトチームを立ち上げ、その時々の方針課題に沿った勉強会を企画し、熱心に研修を行っています。研修内容を紹介します。

医師・看護師を確保し、地域医療を確立します。

- ①新県立中央病院を急性期医療への機能特化を図ります。
- ②新県立中央病院を高度医療(心臓・脳卒中・がん)や高度・重症救急医療に重点化した県の基幹病院とします。
- ③将来を展望した医師・看護師の確保を図ります。
- ④県民が安心できる救急救命医療体制を確立します。
- ⑤精神科の勤務医不足を解消します。
- ⑥予防医学や介護予防策を推進します。
- ⑦地域主体の新しい高齢者支援システムを構築すると共に、介護人材の養成・定着を図ります。



- 平成21年7月7日(火)
 テーマ「現在の香川県の私学の課題と問題点について」
 講師：香川県私立中等高等学校連合会 会長 眞部 卓氏
 香川県私立中等高等学校校長会 会長 倉田 康男氏
- 平成21年10月2日(金)
 テーマ「岩倉再生に向けて」
 講師：香川県警本部長 小島 隆雄氏
- 平成21年11月25日(水)
 テーマ「転機を迎えた航空行政」
 講師：朝日日本航空コンサルタンツ 代表取締役社長 松前 真氏
- 平成22年3月17日(水)
 テーマ「高松道路建設と公共輸送機関に関する課題」
 講師：四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 松田 清宏氏
- 平成21年6月23日(火)
 テーマ「アセットマネジメントについて(橋を守る)」
 講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所
 道路構造物管理研究室 室長 玉越 隆史氏
- 平成21年9月15日(火)
 テーマ「瀬戸内海における海」の現状と課題について」
 講師：日本福祉大学 子ども発達学部 教授 磯部 作氏
- 平成21年12月9日(水)
 テーマ「高松道路無料化に伴う人と物の動向及び今後のインフラマネジメントの方向性」
 講師：香川大学工学部 教授 十井 健司氏
- 平成22年2月24日(水)
 テーマ「地球温暖化対策関連課題について」
 講師：三洋電機株式会社 強化事業推進本部 次世代エナジーソリューション事業推進グループ 販売企画部長 倉田 昌和氏
- 平成21年7月7日(火)
 テーマ「地域におけるスポーツの振興について」
 講師：文部科学省スポーツ青少年局企画課スポーツ振興投資室 室長 長谷川 和弘氏
- 平成21年9月15日(火)
 テーマ「新型インフルエンザに備えるor賢い予防対策」
 講師：県立中央病院 内科部長 宮脇 裕史氏
- 平成21年11月25日(水)
 テーマ「瀬戸内海の体力は大丈夫?」世界情勢との比較から」
 講師：香川大学教育学部 教授 山神 真氏
- 平成22年2月24日(水)
 テーマ「社会福祉の課題」障害者福祉と高齢者福祉を中心に」
 講師：社会福祉法人 旭川荘 理事長 仁木 浩氏
- 平成21年6月23日(火)
 テーマ「エコマックガーゼンクによる地域経済の活性化について」
 講師：国際教養大学 国際教養学部 准教授 山本 尚史氏
- 平成21年10月2日(金)
 テーマ「システム分析で読み解く世界と日本の農業」
 講師：東京大学大学院 農業生命科学研究科 准教授 川島 博之氏
- 平成21年12月9日(水)
 テーマ「ものづくり企業の付加価値向上高収益化について」
 最新MOET(技術経営)の中小製造業への応用例」
 講師：朝日テクノインテグレーション 代表取締役 出川 通氏
- 平成22年2月24日(水)
 テーマ「御食国若狭おぼまの生涯食育」
 講師：福井県小浜市 企画課食のまちづくり課 政策専門員(食育)課長補佐 中田 典子氏

明るい未来を創りたい!

頑張ります!!

P R O F I L E

生年月日 S43.1.20生
家族構成 妻、子供2人、愛犬(13才♀)
趣味 サッカー、フットサル、スポーツ観戦
古武道、和楽器
好きな言葉 常念実現力! 念ずれば華ひらく

学歴

昭和55年3月 土庄町立淵崎小学校卒業
昭和58年3月 土庄町立土庄中学校卒業
昭和61年3月 香川県立土庄高等学校卒業
平成2年3月 大同工業大学 電気工学科卒業

主な職歴

平成2年4月 株式会社 京都公益社 入社
平成4年4月 株式会社 小豆島互助センター 入社
平成11年4月 土庄町議会議員選挙 当選
平成14年1月 社団法人 小豆島青年会議所 理事長
平成18年1月 社団法人日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会長
平成19年4月 香川県議会議員選挙 当選
環境建設委員会 行財政改革推進特別委員会
平成20年4月 香川県議会 総務委員会 防災対策特別委員会
平成21年4月 香川県議会 文教厚生委員会
地域再生・産業活性化特別委員会副委員長
平成22年4月 香川県議会 総務委員会
行財政改革推進特別委員会副委員長

大切なふるさとだから 未来にしっかりつなげたい

皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。
香川県議会議員として無我夢中で走り続けてきた3年。
私たちのふるさとを取り囲む状況は、未だ厳しさの中にあります。さらに、「今さえよければ、自分さえよければ」という風潮が広がっているようにさえ感じます。
このままでは、ますます世の中は住みにくくなり、未来を担う子ども達の目の輝きも奪ってしまうかもしれません。
まず、私たちがそれぞれ幸せになろうとするならば、私たちが国や社会の為に何ができるか、地域の為に何ができるかを

問い、少しでも実行していくことから始まります。
そこから、絆が生まれ強くなり、それが誇りに変わり、ふるさとの宝になる。
私達のふるさとは自分達で守る!
この気概を胸に、たくさんのご支援・ご声援を頂きながら力いっぱい議員活動しております。
さらに大きくなった責任をしっかりと感じ、これからも県政に挑みます。
皆さま 応援よろしくおねがいたします。